



平成22年4月23日

各位

会社名 日産化学工業株式会社
 代表者名 取締役社長 木下小次郎
 (コード番号 4021 東証第1部)
 問合せ先 経営企画部主席 宮崎 貴生
 (Tel 03-3296-8320)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年10月27日に公表した平成22年3月期通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(1) 平成22年3月期通期 連結業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	155,000	17,500	17,000	10,800	62円 68銭
今回修正予想 (B)	149,000	19,100	19,200	12,700	73円 70銭
増減額 (B-A)	▲6,000	1,600	2,200	1,900	—
増減率 (%)	▲3.9%	9.1%	12.9%	17.6%	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	160,162	17,437	16,890	10,052	57円 26銭

(2) 平成22年3月期通期 個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	111,000	14,600	14,100	9,100	52円 81銭
今回修正予想 (B)	111,000	15,900	15,800	10,400	60円 35銭
増減額 (B-A)	0	1,300	1,700	1,300	—
増減率 (%)	0	8.9%	12.1%	14.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	117,796	13,935	13,536	7,956	45円 32銭

3. 修正の理由

第3四半期以降においても、全般的な景気低迷の影響を受け、化学品部門の売上が計画を下回る見込みとなりました。一方で、「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)、半導体用反射防止コーティング材(BARC)など電子材料主要製品の販売は堅調に推移しており、利益面においては平成21年10月27日に公表した業績予想値を上回る見込みとなりましたので上記の通り修正いたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上